

「平成 23 年度全国学力・学習状況調査」を利用した津市の調査結果について

平成 24 年 1 月
津市教育委員会

1 調査の概要

(1) 実施日 平成 23 年 9 月 27 日 (火) ～ 10 月 7 日 (金)

(2) 調査対象

- ・ 市内小学校第 6 学年の児童 2, 471 人
- ・ 市内中学校第 3 学年の生徒約 2, 280 人(教科による参加人数の相違加味)

2 調査結果

(1) 各教科正答の状況

教科に関する調査の平均正答率・正答数は次のとおりである。

	小学校調査				中学校調査			
	国語		算数		国語		数学	
	A (知識)	B (活用)	A (知識)	B (活用)	A (知識)	B (活用)	A (知識)	B (活用)
全集計 平均正答率	77.3%	41.4%	81.1%	45.0%	79.7%	64.5%	58.6%	51.3%
津市 平均正答率 概要	全集計 より低い	全集計 より低い	全集計 より少し 低い	全集計 より低い	全集計 より少し 低い	全集計 より低い	全集計 より高い	全集計 より高い
全集計 平均正答数	12.4 問 ／16 問	4.1 問 ／10 問	15.4 問 ／19 問	5.9 問 ／13 問	25.5 問 ／32 問	5.8 問 ／9 問	21.1 問 ／36 問	7.7 問 ／15 問

※ 平成 23 年度については、文部科学省による全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、「平成 23 年度全国学力・学習状況調査」の問題等を利用し、津市立全小中学校の対象児童生徒について、独自に調査を実施した。結果分析においては、採点集計業務を委託した業者が扱う全集計のデータとの比較を行っている。データ数については以下のとおりである。

[平成 22 年度の全国データ数] 小学校が約 264,100 人、中学校が約 421,000 人

[平成 23 年度の全集計データ数] 小学校が約 126,600 人、中学校が約 119,000 人

※ 全集計の値は国公立校の結果を集計した値である。

※ 平均正答率概要については、母集団である全集計と津市の差異が±0.3%以内をほぼ同じ、±0.3%～1.0%を少し高い・低い、±1.0%以上を高い・低いと表している。

◎ 津市の平均正答率については、22 年度同様、全集計の平均正答率の±5%の範囲内にある。

(2) 輝きプロジェクトによる成果例

ア 「学力と自己肯定感の向上」を課題に掲げたA校

【成果】

- ・ 学校平均正答率の伸びが、すべての教科において上昇（約10%～約16%）した。
- ・ 特に「知識」を図る国語Aと算数Aは、全集計より高くなった。
- ・ 自己肯定感も約13%上昇した。
- ・ 授業中の私語が減り、勉強への熱意が上がる等、学習状況も改善されている。

イ 「学びの共同体」の取組によるグループ活動の活用を課題に掲げたB校

【成果】

- ・ 自己肯定感が約50%、人が困っている時進んで助けるが約25%上昇した。
- ・ 家庭学習を2時間以上する割合が約28%、家で苦手な教科の復習等をする割合も約20%上昇した。
- ・ 学び合いをいかに保障するか、思考や関係を深める発問や手立てについて、全教職員で学び合いを進めている。

ウ 「基礎学力の定着と家庭学習への支援、小中連携」による学力向上を課題に掲げたC校

【成果】

- ・ 学校平均正答率の伸びが、すべての教科において上昇（約1%～約10%）した。
- ・ 国語や数学・総合的な学習の時間についての役立つ実感が向上し、勉強の大切さや出来るようになりたいという意欲が向上した。
- ・ 中学校区で授業の工夫等を共通理解し、連携が進んでいる。

(3) 児童生徒質問紙から見えてきた課題

ア テレビ・ビデオ・DVD・テレビゲーム

平日に3時間以上視聴する児童生徒が非常に多く、全集計より高い。

イ 携帯電話

所持率とともに「ほぼ毎日通話やメールをする」児童生徒の割合が高く、「使い方について家の人との約束を守っている」児童生徒が減少している。

ウ 家庭学習

平日も休日も、2時間以上家庭学習する生徒が過半数に増加したが、ほとんど家庭学習をしない児童が約2割、生徒は約1割である。

3 結果を踏まえた取組

- (1) 調査結果を分析し、説明会を開催して、津市の課題の共通理解を図る。
- (2) 輝きプロジェクト事業推進の中で、成果が顕著に現れている取組を発信し、各校での取組に活かす。
- (3) 各校での調査結果の分析を活かし、指導方法の検証・改善を図る。
- (4) 各校の課題に応じた研修体制の充実を支援する。
- (5) 教育環境整備（ICT環境の充実、図書館の整備など）の充実と活用を図る。
- (6) 学校図書館を活用した授業の充実を図る。
- (7) 平成24年度輝きプロジェクトの基盤に地域連携を位置づけ、学校・家庭・地域の連携を促進するとともに、津P連の協力も得て、家庭学習状況や基本的な生活習慣の改善を図る。

児童生徒質問紙の回答状況(抜粋資料)

1 家庭生活について

(1) テレビ・ビデオ・DVD

- 全集計と比べて、普段（月～金曜日）、1日当たりテレビ・ビデオ・DVDを見聞きする児童生徒の割合は高い。

* 質問 12：普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか

【小学校】	4時間以上	3時間以上 4時間未満	(計)	【中学校】	4時間以上	3時間以上 4時間未満	(計)
津市	27.1%	19.5%	(46.6%)	津市	17.9%	18.1%	(36.0%)
(全集計)	24.2%	21.0%	(45.2%)	(全集計)	15.5%	16.5%	(32.0%)

(2) 携帯電話

- 全集計と比べて、「携帯電話で通話やメールをほぼ毎日している」児童生徒の割合は高い。全集計と比べて、「携帯電話を持っていない」児童生徒の割合は低い。

* 質問 15：携帯電話で通話やメールをしていますか

【小学校】	ほぼ毎日している	【中学校】	ほぼ毎日している
津市	13.9%	津市	41.0%
(全集計)	10.4%	(全集計)	30.3%

【小学校】	携帯電話を持っていない	【中学校】	携帯電話を持っていない
津市	64.3%	津市	25.1%
(全集計)	69.0%	(全集計)	42.8%

- 携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っている児童生徒の割合は、全集計より高いが、22年度と比べると、いずれも激減している。

* 質問 24：携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

【小学校】	きちんと 守っている	だいたい 守っている	(計)	【中学校】	きちんと 守っている	だいたい 守っている	(計)
22年度	56.3%	31.4%	(87.7)	22年度	29.1%	40.7%	(69.8)
23年度	18.7%	10.6%	(29.3)	23年度	23.7%	27.6%	(51.3)
(全集計)	17.4%	8.3%	(25.7)	(全集計)	17.2%	20.3%	(37.5)

(3) 基本的生活習慣

- 朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小学校が約87%（全集計約88%）、中学校が約80%（全集計約82%）である。児童生徒とも、割合はあまり変化していない。

* 質問 1：朝食を毎日食べていますか

【小学校】	している	全く食べて いない	【中学校】	している	全く食べて いない
津市	87.1%	0.5%	津市	79.9%	2.8%
(全集計)	87.7%	0.8%	(全集計)	81.8%	2.3%

2 家庭学習について

(1) 1日の学習時間

- 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりの学習時間が2時間以上である児童の割合は約28%（全集計約22%）、生徒の割合は約51%（全集計約51%）である。

* 質問16：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか

【小学校】	3時間以上	2時間以上 3時間未満	(計)	【中学校】	3時間以上	2時間以上 3時間未満	(計)
津市	11.9%	15.6%	(27.5%)	津市	20.7%	30.0%	(50.7%)
(全集計)	9.1%	13.2%	(22.3%)	(全集計)	23.8%	26.7%	(50.5%)

- 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりの学習時間が30分より少ない児童の割合は約19%（全集計約16%）、生徒の割合は約13%（全集計約14%）である。

【小学校】	30分より 少ない	全くしない	(計)	【中学校】	30分より 少ない	全くしない	(計)
津市	13.3%	5.2%	(18.5%)	津市	7.4%	5.4%	(12.8%)
(全集計)	12.0%	4.2%	(16.2%)	(全集計)	7.3%	6.6%	(13.9%)

- 土曜日や日曜日など学校が休みの日の、1日あたりの学習時間が1時間より少ない児童の割合は、約55%（全集計約46%）、生徒の割合は約27%（全集計約23%）である。

* 質問17：土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか

【小学校】	1時間より 少ない	全くしない	(計)	【中学校】	1時間より 少ない	全くしない	(計)
津市	36.3%	18.5%	(54.8%)	津市	15.2%	11.6%	(26.8%)
(全集計)	34.6%	11.2%	(45.8%)	(全集計)	13.2%	10.0%	(23.2%)

⇒ 学校の授業以外に、ほとんど学習しない児童生徒は、平日も休日も同様で、児童は約19%、生徒は約12%である。

(2) 宿題・復習

- 家で学校の宿題をする児童の割合は約95%、生徒の割合は約82%と全集計より高いが、年々減少傾向にある。

* 質問26：家で学校の宿題をしていますか

【小学校】	している	どちらかといえばしている	(計)	【中学校】	している	どちらかといえばしている	(計)
津市	82.4%	12.6%	(95.0%)	津市	51.4%	30.1%	(81.5%)
(全集計)	79.0%	14.0%	(93.0%)	(全集計)	52.6%	28.2%	(80.8%)

- 家で学校の授業の復習をしている割合は全集計より低く、児童が約34%、生徒が約41%である。

* 質問28：家で学校の授業の復習をしていますか

【小学校】	している	どちらかといえばしている	(計)	【中学校】	している	どちらかといえばしている	(計)
津市	11.5%	22.8%	(34.3%)	津市	13.5%	27.0%	(40.5%)
(全集計)	17.0%	29.5%	(46.5%)	(全集計)	15.3%	30.7%	(46.0%)